

第14回、15回ふらっとカフェ
「どうする・どうなる・どうしたい！？青梅の公共施設」

まとめ

目次

第1回 ワークショップまとめ(P1)

- 1) プログラム
- 2) 意見集約
 - ① 問題点
 - ② 必要な視点
 - ③ 具体的な施設や運営のアイデア
 - ④ アイディアを実現するために必要なこと

第2回 ワークショップまとめ(P5)

- 1) プログラム
- 2) 地域の課題認識と必要な機能についてのグループワークまとめ
 - ① 中央部
 - ② 東部
 - ③ 北部
 - ④ 西部

<参考 グラフィックハーベスト>(P10)

<参考 各グループで作成された表>(P11)

第1回ワークショップまとめ

開催日：2016年7月4日（月）

時間：18時00分～21時00分

場所：青梅市役所2階

趣旨：青梅市の人口や財政状況や現状を理解してもらい、その上で公共施設再編に関して考えるべき「視点」のアイデアを収集する。

1) プログラム

18:00	はじめに
18:20	市からの公共施設再編に関する説明
18:40	ワールドカフェ（話を聴いて感じたことは？）
19:30	休憩
19:40	ワールドカフェで出た意見のシェア
19:55	ワールドカフェ（意見のシェアを聴いて感じたことは？）
20:35	意見のシェア
20:50	まとめ&次回予告
20:55	終わりに
21:00	終了

2) 意見集約

①問題点

- 市民センター子供の遊び場少ない。
- 自然を生かしきれていない。
- どんどん施設をつぶすと地域の魅力がなくなるかもしれない。

②必要な視点

■広域的な視点

- 青梅はいったいどんな都市なのかをちゃんと理解する必要あり。
- 人口が増えている地区の魅力を探れば人が集まるヒントになる。
- 奥多摩…山梨のエリアで考えると青梅の位置付けも別の見え方がする。
- 近隣の地域との共同利用も検討に値する。

■財政的な視点

- 財政が少ない中、単に補修するのではなく、機能をどう充実させるかが鍵。
- つぶさないで使い続けるには？という視点も持つておく。

■運営について

- これまでのやり方を手放して、新しい手法を取り入れる。
- 青海の魅力を打ち出す1点投資で効率投資をしてはどうか。
- 民間委託でコストを下げて運営してはどうか。ただし、民間委託で賃金を低下させることにより、運営がおろそかにならないようにプログラムの運営方法を検討する。
住民による運営、民間委託、若者のNPOの運営などもあり得る。

■機能について

- 施設どうこうより先に、地域に必要な機能を検討する必要あり。
- 未来に何が必要とされるかも予測する(民営化、24時間対応、スローライフなど、方向性は様々)
- 暮らしに密着した施設に。
- 次世代の子どもを育てやすい場に。
- 子育ての拠点、自然体験の拠点の機能を。
- 交流の場、子育ての場等、地域とのつながりをつくる場に。
- 多様な人がフラットな関係で意見を出し合える場に。

■施設の配置計画等について

- 地域によって特色違うので、特色に合わせて機能を検討しなくてはならない(4地域で違う。地域にとって必要な施設を)。小曾木・成木地区は、公共施設が地域から無くなると「交通アクセス」の問題出てくるので必ずセットで考える。

③具体的な施設や運営のアイデア

■施設について

○カフェ+ギャラリー+ものづくり+芸術家の表現の場

青梅にたくさん住んでいる芸術家の力を利用して欲しい。アートを文化に。

○お土産の販売所

○複合的な機能+日常の小さな機能があると良い

○自治会館的機能+子育て機能が合わされば、地域の交流が促進される。子育ては地域で！

■参考となる事例・・・

○立川にマンガパークがある。マンガだけではなく絵本もあるし、アルコールも飲める。

○中学校跡でものづくりをしている場所がある。梅郷そばを作るのも良いかも。

④アイデアを実現するために必要な事

○アイデアを受け止めて実現するまでの仕組みと環境が必要

○コンテンツの質を高めなければ人は集まらない。そのためにはボランティアでの運営は限界があり、対価を支払う必要がある。

○各地区で自治会とは別に老若男女が語り合い、市に対して提案を出せるような取り組みが必要では。自治会には馴染めないが、地域に思いを持っている人は少なくない。

○地域のコミュニティを生かせる運営を。

○自治会が地域の人をつなげる接着剤になっていく必要がある。

★14回 ふらっとカフェ

増える地域の
魅力は何を??

施設や運営の事例やアイデア

芸術家の力を
利用してほしい!
アートが文化に

- 芸術家の発表の場 + カフェ + キャンター + そのほか
- 木工場の展示所
- 複合キウ + 日替わりのキウ
- 並川にまたがけの橋ある。アロコル館ある!
絵本がある。
- 中学校跡をリノベーション。 → 青梅武に
梅のキウ? 梅のキウ?
- 町木への街道沿いに店をつくる。 → 自治会館の活用を。
自治会館の活用を。
- 中学校廃校利用した。

11ヶ所が本誌に載った。
その中のアイデアが
宝!
子育ては地域で!

- アイデアを愛して、実現する仕組みと環境が必要。
- コミュニティを築き上げる必要。自治会は
自治会は
地域の人を
つなげる
- 産学官の連携。青梅仁子の利用。
- 各地域で自治会を別に若者女性が話し合い。つなげる
市に出発する取り組みが必要では!
- 地域のコミュニティを築く

1 青梅のいいところを都市化する?

これをいいとすればせると人は集まるのでは。
青梅の魅力を伝える
1. 投資の効率化

どんな
施設も減らすと
魅力がなくなる。

2 市民への子どもへの道が少くない。

自然の少ないところ? 公園を減らす?
月間委託で数回できるのでは?
→ 話し合う必要。
争いながら新しい方法をいかにして?

3 70代以上の利用継続には? どの視点を?

子育ての充実。自然体験の充実。
近隣の地域との共同利用はできるかな?

4 公共施設のニーズとは?

- 次世代の子どもを育てる場
おき町木... 公共施設が地域から
無くなる。交通アクセス
の問題で起こる。
- 多様な人がフラットな関係で
意見を出し合える場所必要。

5 地域とのつながりを

どう作るか...
↓
こわ見えて始めて使われる。
交流の場。子育ての場。
奥多摩。小梨の工場まで考えに
別に見え方する。
コミュニティ。3ヶ所。(田舎は参考はなし)

6 本当に必要な施設とは?

地域によって特色違うので
とわけて違うものがある。 (地域にとって
必要の施設を!)
4地域それぞれが住民でそれぞれの地域で
一緒に考えていく。

7 市民に使ってもらうには。

施設がどうなるか キウを築く必要あり。
↓
未来どういふのが必要になる? 民間化もキー
24時間対応?
複合化。企画力必要になる。 (ロー
ライ?)
ex. 355... 集高のこ者。

8 自然を生かすには...

暮らしに密着する
プログラムと運営の方法。 (児童館の
つくられる)

4 公共施設のニーズとは?

- 次世代の子どもを育てる場
おき町木... 公共施設が地域から
無くなる。交通アクセス
の問題で起こる。
- 多様な人がフラットな関係で
意見を出し合える場所必要。

5 地域とのつながりを

どう作るか...
↓
こわ見えて始めて使われる。
交流の場。子育ての場。
奥多摩。小梨の工場まで考えに
別に見え方する。
コミュニティ。3ヶ所。(田舎は参考はなし)

6 本当に必要な施設とは?

地域によって特色違うので
とわけて違うものがある。 (地域にとって
必要の施設を!)
4地域それぞれが住民でそれぞれの地域で
一緒に考えていく。

7 市民に使ってもらうには。

施設がどうなるか キウを築く必要あり。
↓
未来どういふのが必要になる? 民間化もキー
24時間対応?
複合化。企画力必要になる。 (ロー
ライ?)
ex. 355... 集高のこ者。

8 自然を生かすには...

暮らしに密着する
プログラムと運営の方法。 (児童館の
つくられる)

第2回ワークショップまとめ

開催日：2016年8月1日（月）

時間：18時00分～21時00分

場所：青梅市役所2階

趣旨：4地区に分かれて、話し合いを行う。それぞれの地域事情に合わせた、地域の将来像を考える。模造紙に「自分たちの手でやりたいまちづくりの活動」「活動をサポートするために地区に必要な機能」「運営への参加方法」について整理する。

1) プログラム

18:00	はじめに
18:25	前回の復習（26分～40分）
18:40	事例の勉強（プロジェクターにて投影） <ul style="list-style-type: none">・若者のNPOによる子育て施設運営（b-flat など）・中学校の廃校を利用したものづくりの拠点（愛山ものづくりビレッジなど）・溜まり場的な施設の事例（ワイワイコンテナなど）・幼稚園＋カフェなどの事例（まちの保育園など）
19:10	4地区に分かれての話し合い
20:30	発表
20:50	まとめ
20:55	終わりに

2) 地域の課題認識と必要な機能についてのグループワークまとめ

(表については、言葉がわかりにくいものや不整合があるものは、適宜修正している)

①中央部（青梅・長淵・東青梅・河辺地区）

○課題認識

- ・市街地としての歴史が古く観光地としてもアピールしやすいが、その分新陳代謝がなく古い住民が多いため、寂れた印象もあり観光地としても今ひとつである。
- ・人口が減ってきているし、観光客の流入が減っている
- ・御岳奥多摩に行った人の乗り換え駅だが、外に出ないで帰ってしまう。
- ・生活の利便性が低下しつつある。
- ・明星大学の跡地をどう利用するか。

○必要な機能

- ・生活利便の向上として、通勤利便の向上、教育レベルを上げる。
- ・観光客を呼び込む。今の施設やハイキングコースをもっとPRする。
- ・移住者を増やすために始発駅だからこそ通勤が容易とPRする。
- ・文化のまち青梅がキーワード。
- ・明星大学跡地を・市民の憩いの場+観光客の場に作り変える。アーティストビレッジにしてはどうか？芸術家に移住してもらって、施設を工房として利用してくれるようなことはどうか。観光客を呼ぶには、青梅とあきる野の間なのでちょうど良いのではないか。
- ・駅前の空き店舗をギャラリーにして、保育園も併設。

	①必要な機能	②主な対象者	③必要な理由	④キーマン
1	通勤が便利というPR	移住希望者	始発駅のメリットは移住の動機になる	
2	人が集う場 豊かな教育環境 多摩の玄関口	新規移住者 子育て世代 観光客	永山ハイキングコース・宿泊対応	
3			釜の淵公園アピール	
4			釜の淵公園と駅前の関係強化	
5	生活の利便	元々の移住者		商店の次世代
6		商店経営者		

②東部（大門・新町・今井地区）

○課題認識

- ・人口増えているが、新住民と旧住民との交流が進んでいない。つなげる場所が必要。
- ・新住民は外に通っている人が多い。それは、都心から見た青梅の姿を客観的に見ることができるし、都心と青梅をつなぐ役割を持てるため強みでもある。
- ・青梅の良さを外に発信していくきっかけをつくる「玄関」としての役割を持たせる。
そのために必要なのは「ゆるい居場所」

○まちづくりの方向性

- ・自治会館や市民センターは少し閉鎖感がある。ちょっと覗ける場所、わざわざ応募して参加するとかではなく、ちょっと覗ける「ゆるつながり」を都市機能として取り入れていく必要がある。そうすることで、北部や西部の青梅の持つ良いところを紹介できる。

	①必要な機能	②主な対象者	③必要な理由	④キーマン
1	やりたいことをやりたい人でできる環境	新しい住民	ふれあいリノベーション	
2	居場所 (場所といったものではなく、あいさつできるような日常とイベント) 温かなふれあい	地域の人々 中高校生 大学生 ⇒若者	集いの場 古い地の人とつながる	地域のおじさん 子ども会 おはやし連など
3	よそへの情報発信	移住希望者	地元の良さの発信 東部が青梅の入り口というPR	
6	デザイン、おしゃれ、心地良さ	新規住民	対外的なアピール	
7	コミュニケーション	地域の大人	ハードよりソフトが大事 人の役に立つ喜び 大人が楽しむ	昔の青年団 自治会を盛り上げるやくめだった自治活動

③北部（小曾木・成木地区）

○課題認識

- ・交通の便が悪い。空き家が多いが調整区域があり移住者が少ない。昔ながらの考え方が少なく、若者の新しい考え方を実践することが難しい。

○まちづくりの方向性

- ・空き家を活用した会議室や店ができれば良い。
- ・小曾木、成木を出て行かないような教育を地域全体でやりたい。
- ・地域特性を生かしたデザインが重要。
- ・情報交換の場をもっと作る。
- ・不明の地主さんを探して、利用できるようにする。
- ・女性の考え方が鍵。女性が良いといえれば男性は協力してくれる。
- ・東部が玄関としての位置付けなら、北部はコンテンツを提供する地区となる。外部から来てくれる人に楽しんでもらえる取り組みをしたい。

	①必要な機能	②主な対象者	③必要な理由	④キーマン
1	製材所	若者 中学生 高校生 大学生 観光客	岩蔵温泉の活用 縁側で食事 職場をつくる 来訪者へのサービス 滞在場所確保 情報交換の場	地主さん
2	子育て世代のための市営住宅（木とステキな家）			女性がキーマン
3	食材を売る所			外部から来る人
4	（民泊） シェアハウス			

④西部（梅郷・沢井地区）

○課題認識

- ・道路のアクセス性に課題がある

○必要な機能

- ・回遊しやすいように道路をつなぐことが重要（多摩川—御嶽—梅郷）

	①必要な機能	②主な対象者	③必要な理由	④キーマン
1	心地良い「道」	地元住民	利便性が低い	
2	地域を循環させる「道」	子育て世代	回遊性に乏しい	できる人がやる
3	歩道で循環	観光地、ハイキング	コミュニケーション	能力のある人
4	循環社会の仕組みづくり	多摩コース 地元の人 子育て世代	経済の循環が必要	行政と調整できる人
5	施設が分かりやすい サインボード		歩いて健康	



<参考 各グループで作成された表>

●中央部（青梅・長淵・東青梅・河辺地区）

中央部地域の課題

キノウ	対象者	理由	キーマン
高齢者 の増加	元住居者	高齢者の増加	
人口減少	子育て世代 若年層	子育て世代の減少 若年層の減少	
高齢者の増加	元住居者	高齢者の増加	
健康	元住居者 高齢者	高齢者の増加 高齢者の健康	
生活の利便	元住居者 高齢者	高齢者の増加 高齢者の生活利便	

●東部（大門・新町・今井地区）

東部の課題

主要課題	主な対象者	主要理由	キーマン	その他
高齢者の増加 若年層の減少	元住居者 子育て世代	高齢者の増加 若年層の減少	元住居者 子育て世代	高齢者の増加 若年層の減少
人口減少	元住居者 子育て世代	高齢者の増加 若年層の減少	元住居者 子育て世代	高齢者の増加 若年層の減少
生活の利便	元住居者 子育て世代	高齢者の増加 若年層の減少	元住居者 子育て世代	高齢者の増加 若年層の減少
健康	元住居者 高齢者	高齢者の増加 高齢者の健康	元住居者 高齢者	高齢者の増加 高齢者の健康
生活の利便	元住居者 高齢者	高齢者の増加 高齢者の生活利便	元住居者 高齢者	高齢者の増加 高齢者の生活利便

●北部（小曾木・成木地区）

北部 課題	① キコ	② 誰	③ 理由	④ キマン
情報収集	製材所	若者	情報収集	地元
交通手段	子育て世代 子育て支援 (子育て支援)	若者	若者	女性
食料・食生活	食生活 食生活	若者	若者	外部の人
職場	食生活 食生活	若者	若者	外部の人
頭が痛い	食生活 食生活	若者	若者	外部の人
不特定な 山・家	食生活 食生活	若者	若者	外部の人
			稼働で 食事	

●西部（梅郷・沢井地区）

西部地域の課題

道

観光でわいていく!!
梅ウルスセンター→402

自然を生かしていきな!!
まち

道をつくる!!

山側

必要なキコ	主な対象者	必要性理由	キマンのキマン同伴
心地良し	地元住民	地元住民	地元住民
地域を循環させる	子育て世代	子育て世代	子育て世代
歩道の循環	子育て世代	子育て世代	子育て世代
循環社会の仕組みづくり	子育て世代	子育て世代	子育て世代
施設が分りやすく 安心・安全	子育て世代	子育て世代	子育て世代
空宿舗 無料体験	子育て世代	子育て世代	子育て世代

以上